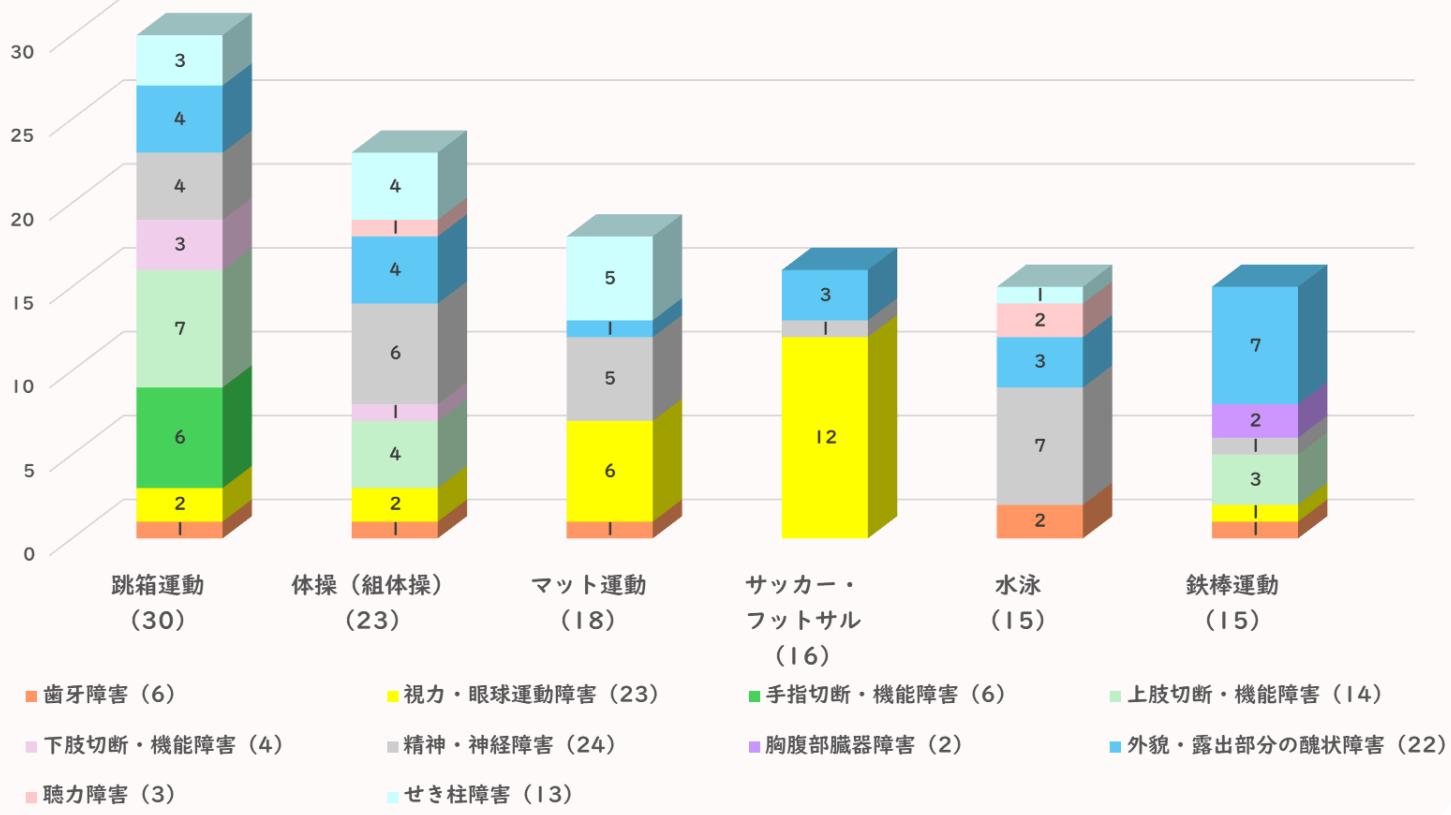


知っていますか？小学校体育の重大事故*

*障害見舞金が給付された災害を「重大事故」と示しています。

重大事故発生件数の上位6種目と障害種別の内訳



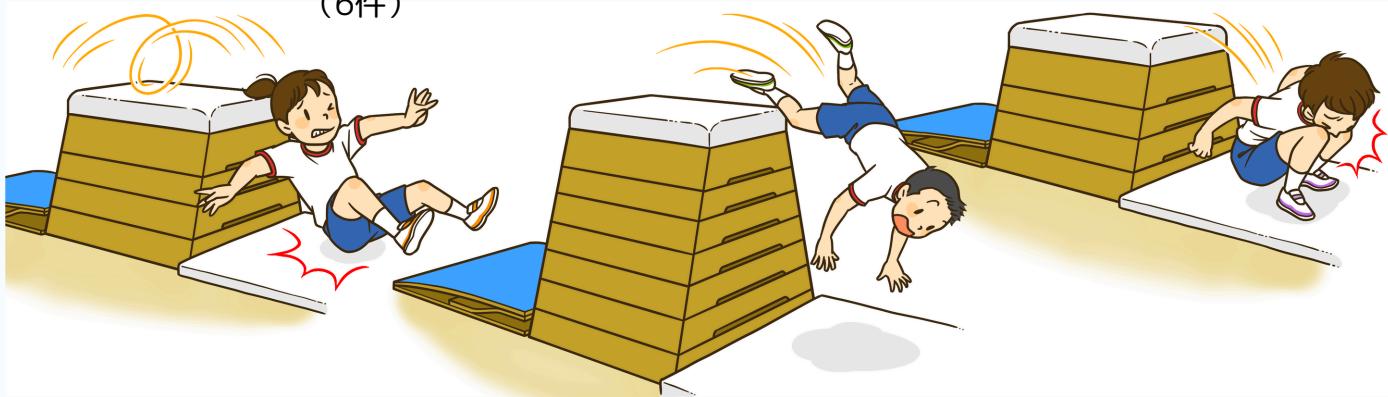
発生件数が最も多い跳箱運動

事故の傾向

着地時に手や腕
をついてしまう
(6件)

着手がうまくできない
(4件)

跳箱と脚の衝突 (3件)
勢いあまって転落着地 (5件)
着地時に自身の膝が眼にあたる (2件)



事故防止のポイント

助走距離の制限
壁からスタート

動物歩きや手押し車など
手をつく、手で支える動作の経験

跳箱の高さ制限
過度な助走が必要のない高さ

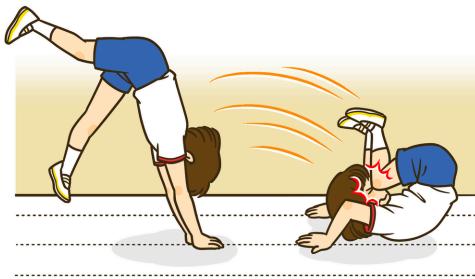
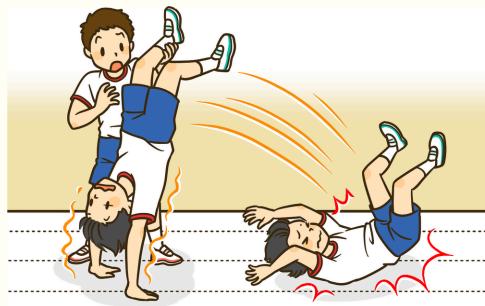
独立行政法人日本スポーツ振興センターのホームページ内に公開されている「学校等事故事例検索データベース」を活用し、2005年度から2023年度の18年間に障害見舞金が給付された、小学校体育における災害発生状況を分析して作成しました。

マット運動での重大事故

事故の傾向

最も重大事故が多い技は 後転（4件）

倒立を伴う技 壁倒立（2件） 補助倒立前転^{*}（2件） 倒立前転^{**}（2件） 倒立（2件）



視力・眼球運動障害の割合が高い

・回転時や転倒時に

自身の膝が眼にあたることも（5件）

* 高学年の発展技として記載

** 高学年の更なる発展技として記載

事故防止のポイント

児童の実態の把握

スマールステップによる学習

系統的な学習 (*を参照)

手をつく、手で支える動作の経験

体操（組体操）

発生件数の多い技

1. 3段タワー（4件）

1. ピラミッド（4件）

3. 飛行機（3件）

3. 肩車（3件）

3. 補助倒立（3件）

蹴ったボールが眼にあたる

事故の傾向

他者が蹴ったボールが眼にあたり発生した

視力・眼球運動障害は12件



飛んできたバットがあたる

事故の傾向

打者が手放したバットがあたり発生（10件）



事故防止のポイント

ボールの選択、強く蹴る必要のないコート
の広さ、ゴールの高さ、ルールの設定

事故防止のポイント

ボールを打つ経験、打つ動作のみの学習
打撃後の走塁方向へ「バットおき」の設置

鬼ごっこ中の衝突

鬼ごっこに関する重大事故18件

⇒他者との衝突11件

⇒首から上の部位同士の衝突8件



馬跳びでの転落

馬跳びに関する重大事故6件

⇒背中についた手が滑る

馬がバランスを崩す

足が馬にあたって転落



縄の持ち手が衝突

縄の持ち手が引っ張られた
状況から、片側の持ち手が
離れ、その持ち手部分が反
対の持ち手を持っている児
童の眼にあたって発生5件



鬼の人数や活動場所の広さ、
活動時間などを考える際には、
事故防止という視点も忘れずに

着手場所が狭いため助走しない
揺らされても動かない馬の練習

伸縮性のあるものを引っ張り
合うことの危険性の指導